

学ぶことは
生きること

夜間中学 を知ってください

夜間中学ドキュメンタリー

文部科学省選定

こんばんはⅡ

監督：森 康行（「こんばんは」第77回キネマ旬報文化映画ベスト・テン第一位）

ナレーター：大竹しのぶ

入場無料 要申込

制作・著作：夜間中学校と教育を語る会 編集：古賀 陽一 選曲：八重樫 健二 撮影協力：川越 道彦

田辺市上映会

夜間中学パネル展同時開催

[日時] 1月23日（土）13:30～14:50 ※13:00 受付開始

[場所] 中部公民館（田辺第一小学校内） ※駐車場あり

[主催] 夜間中学映画「こんばんはⅡ」In 和歌山上映実行委員会

[共催] 田辺市教育委員会

[定員] 50名（先着順） ※会場の定員数を半分にして実施しています。

[申込期間] 12月10日～18日

[申込方法] 中部公民館までFAX（裏面の記入欄利用可）かメールで連絡。

FAX：0739-34-2914 メール：tyubu.ko@city.tanaba.lg.jp

[問合せ] 田辺市教育委員会学校教育課 TEL：0739-26-9942

※新型コロナウイルス感染症の予防対策として、会場にはアルコール消毒液を設置し、検温を実施します。ご参加の際はマスク着用をお願いします。なお、感染状況の変化によって中止する場合は、電話またはメールの方法で連絡します。

6月頃に和歌山
市・橋本市・新宮
市でも上映予定！



Facebook
ページはこ
ちらから！



【後援】和歌山県、和歌山県教育委員会、田辺市、和歌山大学、和歌山信愛大学、和歌山ユネスコ連絡協議会、和歌山県教友会、朝日新聞和歌山総局、読売新聞和歌山支局、毎日新聞和歌山支局、産経新聞社、わかやま新報、紀伊民報、日高新報社、テレビ和歌山、ニュース和歌山（株）、NHK和歌山放送局

【問合せ】夜間中学映画「こんばんはⅡ」in和歌山上映実行委員会事務局（和歌山信愛大学内・江口怜研究室）
Tel：073-488-6288 Mail：eguchi@shinai-u.ac.jp

義務教育未修了の方は百数十万人

政府の統計では、学歴がゼロという方だけでも128,187人います。さらに小学校のみ卒業、中学校中退、義務教育猶予の障がい者、ほとんど実質的に学ぶことができず、形だけ卒業してしまった不登校経験者、外国につながる人などを加えると、その数はさらに多くなります。

公立夜間中学と自主夜間中学

2019年4月現在、公立夜間中学は9都府県に33校。開設に向けて各地に動きがあるものの、限られた地域にわずかしかないため、義務教育未修了者の学びの願いにはボランティア団体が運営する「自主夜間中学」がかすかに応えているのが現状です。この映画には公立と自主の両方の夜間中学が描かれています。

学ぶことは
生きること

全ての人に
学ぶ権利がある

その声を社会全体の常識に!

〈基本的な学びは、年齢・国籍などにかかわらず、どんな人にも生きるためになくてはならないものだ〉この映画に登場する人たちがそれを証言しています。国や自治体はこれに応える責任があります。また、学べなかったことを自分のせいにしてひっそり生きてきた人たちに、そうではない、今からでも遅くない、ぜひ学んでほしいと声を大にして呼びかけていきましょう。



和歌山上映実行委員会の構成と私たちの想い

委員長：山口裕市（元県教育長）
副委員長：村田和子（和歌山大学教授）、吉本拓司（自主夜間中学「岩橋夜間学校」代表）
事務局長：江口怜（和歌山信愛大学助教）ほか多数

上映会開催の希望
絶賛受付中!

和歌山県には、現在公立の夜間中学校はありませんが、自主夜間中学「岩橋夜間学校」が20年近く活動を続けています。かつて和歌山県下には北は和歌山市から南は新宮市まで、夜間中学が約10校存在していましたが、時代の流れとともに消えてゆきました。しかし、現在も多くの外国の方や義務教育を終えていない方、学び直しをしようと考えている方がたくさんいます。そのため、文部科学省はすべての都道府県に最低1校の夜間中学校が必要だとしています。現在、和歌山県下には日本語を習得する場や学び直しの場がつけられつつありますが、すべての人に学びの機会が届いている状況とは言えません。私たちは、映画上映を通して、学びを大切にする公立夜間中学校の重要性を伝えていきたいと願っています。

夜間中学映画「こんばんはⅡ」田辺市上映会 申込情報記入欄（FAX送信用）

【氏名】（ ）
【電話番号】（ ）
【メールアドレス】（ ）
【その他】

申込先：中部公民館
FAX：0739-34-2914
メール：tyubu.ko@city.tanabe.lg.jp

※頂いた情報は適切に保管し、本上映会以外の目的では利用しません。